



よみかき茶屋 教材事例集

# 新聞を使つて学び②

# 教材を使うにあたって

私が初めて識字学習に関わったのは、四年半前に「よみかき茶屋」に入ったときでした。そこで中高年の学習者に接して感じたのが、「勉強は楽しい」と思ってもらえるような教材を準備することが一番大切なのではないかということでした。

しかし、適当な市販の教材を見つけないことができず、新聞投書を中心に、記事や投稿などを借用して手づくりすることにしました。特に一般の人の投書は身近な内容が多く、学習者の関心が得られて「楽しい勉強」につながるのではないかと思つたからです。

学習者の反応を見ながら試行錯誤を重ねていくうちに、大抵現在の体裁に落ち着きました。学習者のレベルに応じて若干形式を変えています。教材文の音読、漢字の練習、短い作文の三つが中心の柱になっています。

さらに、単にこれらの問題をこなすだけでなく、教材に採用した文の内容について、共感や反論などの感想とか、同じような体験談の交換で話はずみ、コミュニケーションの上でも役に立っています。

今回は、著作権の関係で、新聞記事の題材しか取り上げることができませんでした。そのため、とつつきにくくという印象を持たれるのではないかと危惧しておりますが、今後さらに工夫を重ねたいと思います。

最後に、私のつたない教材が少しでも学習者のみなさんのお役に立てたら非常にうれしいですし、さらに進んで、文を読む楽しさを実感していただけたらこの上ない喜びとなります。

## 教材の使い方、及び学習の進め方

### (1) 本文の音読

一〜二段落ずつ順番に音読します。これを二回繰り返します。

### (2) 漢字の勉強

本文に出ている漢字を三〜五字取り上げて、それらの漢字を使った熟語の練習をします。

(ここでは、漢字の難易度に関係なく、できるだけ日常生活で使用されそうな熟語を取り上げています。)

★ 


 の左側の枠は、右枠で書いた字の自主練習用です。

★ ( ) は本文中に出ている熟語という意味です。

★ ( ) 、 ( ) は本文中にある漢字という意味です。

### (3) 作文

本文の内容に関連のある題で短い文を書いてもらい、主に文字の訂正・添削をします。

(そして、私の方からも一筆感想を書き添えるよう心がけています。)

### (4) その他

★ (2) で練習した漢字以外の、本文に出ている二字熟語をA列、B列に分解したものを、元の熟語に組み合わせます。

★ 漢字の尻取りはゲーム的に漢字をつないでいくのですが、音読み、訓読みの多様性を学んでもらうのがねらいです。

★ また、今回は少ないのですが、ひらがな文を漢字を交えた文に書き直す作業も、送りがなを正しくつける練習として有効で、学習者のあいだでも好評です。

(5) さらに、学習者の中には、自宅で本文を筆写したり、すべての漢字にふりがなを打つてきて、間違いの訂正を求める熱心な人もいます。

〈付記〉私が担当したのは主に中級レベルの学習者でしたので、一般向きの教材とはいえないかもしれませんが、そのことを予めお断りしておきます。

## 第2巻〈目次〉

### タイトル

1	68歳 私は夜間中学生	朝日新聞(2003.1.9) …… 1
2	カフアなせ来るの 供物狙って大拳襲来	朝日新聞(2003.6.25) …… 4
3	「笑門には福来る」を裏付け	朝日新聞(2001.5.27) …… 7
4	老いてこそ「始める」大切に	朝日新聞(2002.2.25) …… 9
5	果物人気順位「梨ちゃん」バナナ躍進	朝日新聞(2004.10.23) …… 12
6	リハビリ初え66歳返す	朝日新聞(2004.1.17) …… 15
7	冬こそシヤキッと過ごそう	朝日新聞(2003.11.9) …… 18
8	この昔高血糖察	朝日新聞(2004.11.11) …… 21

### 出典(掲載年月日)



「よみかき茶屋教材事例集～新聞を使って学ぶ②」

執 筆：よみかき茶屋 黒田美智代

編 集：大阪市立総合生涯学習センター

TEL：06-6345-5009

FAX：06-6345-5019

発 行 日：平成18年3月

発 行 行：大阪市教育委員会